

平成 28 年度 鑑石園ショートステイ

事業報告書

1. 事業運営の概況

特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターと連携して、業務内容を見直し、レクリエーションとリハビリテーションの充実に努め、利用者様に楽しく過ごしていただけるよう工夫した。

稼働率確保を目標に毎月の事業所回りをを行うと共に各種研修に参加し他事業所のケアマネジャーとのコミュニケーションを図った。

衛生管理対策として、手洗い、うがいを励行し感染症予防に努めた。

2. 事業計画実施状況

(1) サービスの充実

- ・ 新規利用者様受入れの際は、相談員が作成したアセスメントを基に、ショートステイの全職員に対しご本人の状況を周知し、提供するサービスについて、事前に検討を行った。
- ・ 利用者様、ご家族、担当ケアマネジャーと話し合い、個々の利用者様について作成したケアプランに基づき、ご家族と利用者様ご本人が満足できるサービスの提供に努めた。
- ・ ショートステイ利用中に起きた事故については、ただちにご家族に連絡し、事故の詳細と怪我の有無、受診の可否等についてわかりやすく説明すると共に謝罪し、誠意のある対応を心掛けた。病院受診された時は同行し、事故時の状況説明をさせていただき、医師が円滑に処置を行えるよう努めた。
- ・ ご家族とのコミュニケーションを充実させ信頼関係を築く為、送迎時にご家族との会話を心掛けた。入所時には利用者様の心身の状態等を伺い、退所時は、利用中の様子を報告した。またご家族の負担を考慮し、退所時には衣類を洗濯してきれいな状態で返却するよう努めた。
- ・ 職員教育の一環として、特別養護老人ホームが行う内部研修に積極的に参加し、職員資質の向上を図った。
- ・ 利用者様の身体状況に合わせてベッドの配置を決める等、安全対策に努めた。また、施設職員、看護職員と連携し、見守りの強化を図った。夜間帯にはフットコールを設置し、転倒防止に努めた。

(2) 稼働率の確保および維持

- ・ 稼働率を向上させる為、各居宅介護支援事業所に空き情報を提供し、積極的に営業活動を行った。
- ・ 空床時には緊急利用にも対応できるよう、ご家族とのコミュニケーションを重視し、臨機応変な対応を心掛けた。
- ・ 日曜日には職員数が不足することから、家族による送迎のみを受け入れていたが、職員配置を工夫し、可能な限り送迎を実施することで受入を拡大することができた。しかし、施設入所される利用者様が増加したことから、利用述べ人数 1,777 名、平均稼働率 60.9%と低迷してしまった。

(3) 機能訓練、レクリエーションの充実

- ・ ケアプランに基づき、機能訓練指導員と介護職員が協働して生活リハビリを行った。またデイサービスと協力してレクリエーションを行った他、特別養護老人ホーム内部の行事には積極的に参加できたが、職員不足の為、外部(外出等)行事を実施する事が出来なかった。
- ・ 手作業を中心としたリハビリテーションを行い、作品を展示する等、達成感を味わうことができるよう工夫した。実施したリハビリテーションについては、機能訓練記録・作業記録簿に詳細を記入した。
- ・ 口腔機能を維持する為、食事前の口腔体操を実施した。
- ・ 平成28年度に参加した行事については次の通り

4月	花見
5月	新茶の会
7月	七夕・納涼祭
10月	ロゼシアター福祉展見学
12月	クリスマス会
2月	節分
3月	ひな祭り

(4) 衛生管理

- ・ 感染症を予防するため、シーツ交換時にベッド周りの消毒を行った。また、毎週1回食器類の消毒を実施した。
- ・ 感冒症状のある利用者様に対しては、居室の配置等の調整をする事で感染防止に努めた。